

フォーア

～（女性建築士の輪）～

奈良県建築士会 女性委員会
2015 年 夏号
第 83 号



生駒市ふるさとミュージアム（旧生駒町役場）

設計：中川吉治郎

目次

■ 各部会 今年度のご案内	武市 啓子・岩城 由里子・杉田 数代 1～2 ページ
■ 2015 全建女のご案内	本保 万貴子 2 ページ
■ 和室の話④～～建具～～	上田 壽子 3 ページ
■ 私と建築	安井 ひとみ 4 ページ
■ 新入会員のご紹介	大川 碧・志垣 智子 5 ページ
■ 大原さん追悼記事	山下 宣子・梶谷 治美 6 ページ
■ 今後の事業予定	7 ページ

～ユニバーサル部会～

武市 啓子

ユニバーサルデザイン講演会のお知らせ

今年も11月にユニバーサルデザイン講演会を開催します。昨年と同じく講師は、趙 玫虹（チョウ ミンジョン）さんです。

日時：11月9日（月）PM6：30～8：30

場所：建築士会館1階会議室

内容：・女幸（よへん）プロジェクトのその後と、ユニバーサルデザインの視点も加味された「清溪川再生」
・韓国の福祉や女性の現状について

～講師について～

趙（チョウ）さんは、大阪市立大学生活科学研究科にて「建築系・住居系分野における仕事と生活からみた男女共同参画に関する研究」で、博士号を取得されており、私達の身近なところの研究もされています。

もちろんユニバーサルデザインについても兵庫福祉の町づくりなどで活動されていました。現在は、大阪府立大学工業高等専門学校総合工学システム学科都市環境コースにて講師をされています。

今回は、女幸（よへん）プロジェクトのその後と、ユニバーサルデザインの視点も加味された「清溪川再生」についてお話くださいます。また、韓国の福祉や女性の立場、仕事について日本との違いなどについても、興味あるお話が聞けると思います。

前回、韓国のお話がとても興味深く、もう一度聞きたいとの声を多くいただき、今回の講演会が実現しました。前回聞き逃した方も、是非足をお運びください。

皆様、ふるって御参加をお願いします。

～和室研究部会～

岩城 由里子

日本の住まいから和室が姿を消しつつあるのは、人々の暮らし方の変遷によりニーズが減っていることが主な理由と考えられます。

わたしたち建築士も、ニーズの減少とともに和室の設計をする機会が少なくなりました。日本独自の和室の建築文化を次の世代につなげるためにも和室研究部会では、今の時代に合った和室を提案する技術を磨きたいと思います。基本的な和室の知識を学ぶとともに日本の家屋文化や生活文化の変遷、床座の暮らし、椅子座（洋室）との居心地の良い混在方法、わたしたちの暮らしの中での畳の思い出など、いろいろな方向から和室のことを考えたいと思います。フープでは上田壽子様に「和室の話」を4回に渡りご連載いただき、今号がいよいよ最終話となりました。毎回多岐にわたるお話と美しい写真をご寄稿いただき、皆様にもご愛読いただいていることと存じます。御連載に引き続き、和室研究部会で上田様にご講義していただくことになりました。楽しいお話とともに美しい写真の数々をスクリーンで拝見させていただく予定です。日程等詳細はフープやメールにてお知らせさせていただきますので、みなさま奮ってご参加ください。

■和室研究部会にご興味がおありの方には、部会の開催日や企画についてメールでお知らせしますので、是非ご連絡ください。

和室研究部会

担当 岩城 yiwaki@kc.n.ne.jp

～全国女性建築士連絡協議会

奈良開催準備部会～

杉田 数代

(公社) 日本建築士会連合会女性委員会が毎年開催されております全国女性建築士連絡協議会(通称「全建女」)が、来年7月に、奈良県で開催される運びとなりました。

参加人数は300人～400人ほどを想定しており、日程は7月の第3週目の金曜日と土曜日です。1日目は午後からの開催で全体会(基調講演やパネルディスカッション)、2日目午前からはテーマ別に分かれて全国的女性委員会の皆様の活動発表や意見交換があります。全国的女性委員会の方々の色々な体験や活動報告があり、皆同じ様な悩みや疑問に問題意識等を持っていることが分かり、他府県での様々な取組や情報を頂ける場となっており、全国の方々と知り合える大変有意義な機会です。私も今までに東京大会2回、長野大会・京都大会に参加させて頂き大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。つきましては皆様にも御参加いただき、様々な体験や全国の方々との交流の時間を作っていただければと思っています。

～全建女準備部会班構成～

- * 会場班 (全体会・分化会会場設営)
- * 懇親会班 (会場借り上げ・メニュー)
- * 見学班 (エキスカージョン計画・手配)
- * 講演班 (基調講演企画・依頼・接待等)
- * 記録班 (写真撮影・記事)
- * 会計 (会計全般・連合会事務局連絡)

以上の内容で進んでおります。

第一回会議は6月15日に行いました。まず手を上げて頂いた方が各班に入って頂きました。これからもスタッフの増強を図る予定で、当日スタッフや準備スタッフ、部会に参加して頂ける皆様のご協力やご参加を随時募っております。第2回目以降の会議もこれから開催予定です。ご自身の参加出来る可能な範囲で「私でも出来る事があれば」と気軽にご参加いただき、楽しい思い出を作っていただける部会にしていきたいと思います。

第25回全国女性建築士連絡協議会の案内

(公社) 日本建築士会連合会女性委員会

委員 本保 万貴子



日本建築士会連合会女性委員会の主な事業は、建築士会全国大会での交流セッションと全国女性建築士連絡協議会(通称;全建女)です。建築士会全国大会は、今年は10月30日(金)に金沢市で開催さ

れ、女性委員会は9:30～14:30に連合会の青年委員会、まちづくり委員会の3委員会合同セッションを行います。全国大会に参加される方は、ぜひのぞいてみてください。

そして連合会女性委員会の最重要事業である全建女は、第25回目の節目を迎えるにあたり、一日目の全体会議を女性建築士に視点を置いた内容にします。

日程; 9月25日(金)～26日(土)

場所; 東京代々木オリンピックセンター

テーマ; 未来へつなぐ居住環境づくり

～次世代へ伝えたい、こと・もの・暮らし～。

【一日目】9月25日(金)

11:00～13:00 全国女性部会長(委員長)会議の後、

13:30～13:55 開会式

14:00～15:00 基調講演「全建女の立ち上げと仕事」

講師; 初代連合会女性委員長 村上美奈子

15:20～16:20 パネルディスカッション

「女性建築士のあり方について」

17:30～ 大交流会

【二日目】9月26日(土)

8:50～10:40 8分科会

A「震災①防災への取り組み」、B「震災②ボランティア活動の報告と取り組み」、C「歴史的建造物と建物再生」、D「素材と環境共生住宅」、E「景観まちづくり」、F「子どもと住環境」、G「高齢社会」、H「集まってすむ」

11:00～11:30 全体会と閉会

この全建女で、来年2016年7月22日～23日に、奈良で開催することを全国に向けて元気よくアピールするために、奈良女性会員の多くの参加をお願いします。参加申込は、8月に案内します。

和室の話④ ～～建具～～

上田壽子



現在、和室に用いられる木製建具は襖、紙貼障子、棧戸、框戸などがありますが、外部建具はほとんどがアルミサッシになってしまいました。襖は縁、力

骨、襖紙、引き手などから成ります。縁は本漆仕上げ、木地仕上げ、カシュー仕上げなどがあり、縁寸法は縦横共19.5mmですが見付け寸法によってかなり印象が違ってきます。紙は本鳥の子紙や唐紙、美濃紙などがよく用いられました。本鳥の子紙は本来手漉きの雁皮紙のことで、公営住宅などでよく使われた新鳥の子紙は機械透きの一番安価な襖紙です。唐紙（からかみ）は公家好み、武家好み、町屋好み、寺社好み、茶方好みと文様が様々あります。京都の「唐長」に行くと唐紙の版木などが見られます。村野藤吾氏が摺りきれた「縮緬縞」の版木を見つけれられて、唐紙を作り、氏の作品によく用いられたことは有名ですね。（大和茶室探訪 IP146 参照）



上左は「四君子苑」の襖でウンスンカルタの裏紙が使われているそうです。右は瀬戸内 野島家の座敷で、わかりにくいですが引き手は「つぼつぼ」が用いられています。引き手も七宝焼きや陶器で作られたものもあり、色々目を凝らすと面白いですね。



左は「千鳥」の引き手 右は京都宇治にある松殿山荘の広間で、襖周囲が西陣織で作られており、引き手金物

の中に松葉が見えます。また、折り上げ天井部分に使われているのは「大阪土」の塗り壁です。赤色に仕上げられています。



上左は越後西福寺の書院（組子の富士山）右は信州別所温泉の登録有形文化財の旅館「花屋」の客室。籠目と投網模様です。富士山、投網などはよく書院障子に見られますね。私は関東にその傾向がよく見られると思うのですが・・・最近では和室のある家も少なく、まして書院を設けるお家はほとんど見かけません。見かけるとしても重文級のお家や贅を凝らした分限者のお家ばかりになってしまいました。ただ、重要文化財になったがために一般公開され、私たちの目に留まるようになったのも確かです。



上左は因幡街道 重要文化財の石谷家住宅の書院です。ハート型の枠に遊び心が現れていますね。少し趣が異なりますが、上右は東京大久保にある淀橋教会の内部です。キリスト教会ですが和風に設えられており、外部にはアルミサッシはあるものの、内部建具が面白いなと思ったのは、紙貼りではなく寒冷紗を用いていたからです。寒冷紗なら風も通すうえ、美濃紙よりも光が柔らかく感じられました。早速自分の仕事にも取り入れてみました。

和室を構成するのは木材と紙、土であり、そのシンプルな素材を使い、このようにすばらしい空間を作り上げている大工さん・職人さんたちには敬服いたします。またこの文化をなんとか守り伝えていきたいと思います。

私の和室の話はこれでおしまいです。ありがとうございました。



建築という世界に身を置いて25年という歳月が過ぎました。図面を見、図面を描き、お客様や職人さんと打合せをして、現場へ行ってという一連の行動を毎日繰り返している今日この頃です。

私は建築とは全く関係のない法律を学びましたが、もともとインテリアは好きで、生活を支えるための仕事として迷わず建築の世界を選び、工務店に再就職しました。とは言え図面を描くどころか読むことも出来ない状況でのスタートでした。現場監督として経験をつんだつもりでしたが、設計の基礎がない私に図面を描くというのは超難問で設計を自分の仕事にするなんてとても考えられませんでした。

しかしラッキーなことに時代の進歩に救われました。パソコンの普及が私を後押ししてくれたのです。『CAD』。これを何とか使えるようになり、設計の仕事を自分の仕事としてやっていける自信がつき、9年前に起業したのです。

事務所を開くときのコンセプトとして、気軽に住まいの相談をして頂けるような場所にしたいというのが有り、“住まい” “住まい方” “暮らし” という個々の住宅に焦点をあわせた仕事が私の建築の世界です。

事務所の屋号の「Cozy Planning」の“Cozy”は米語で“居心地の良い空間”、あるいは“くつろいだ暖かな部屋”という意味があります。（これはクライアントのアメリカの方のネーミングですから間違いはないですよ）

家具や小物への配慮も含めて「暮らし方」からトータルでプラン・デザインする“Cozy”な空間。これが私の事務所のうたい文句です。

建築というと、工学的なハードの面と、デザイン・芸術性というソフトの面とそしてコミュニケーション能力を必要とされる、ある意味サービス

業的な3つの側面があると思いますが、個人の住宅を手掛ける時にはコミュニケーション能力の必要性を特に感じます。お客様が何を望まれているかヒアリングし、それを具体化していく。またご家族のご意見が食い違う時はその調整もして・・・まさにコミュニケーション能力が試されます。私が事務所を続けることができてるのは、このお陰かなとも思います。

最近のお客様はいろいろな情報をご自分で収集されていたり、またこちらがウーンとうなるような発想を提案されたりと、逆に刺激を受けることも多々あります。本当に毎日が勉強の連続です。これを書いている今も、ネットの写真を持ってこられたお客様から、外観をこんな風にニューヨークっぽくリフォームお願いしたいというご依頼がありました。今の家は日本瓦にリシン吹き付け(母屋塗りこみですよ)。

さあどうしよう！でも、これが楽しいんですよ。

これまでの「私と建築」に寄稿された皆さんも、建築の仕事はやりがいがあり楽しいというご感想を多くお持ちですが、私も同じくです。一つ一つ積み上げ、いろんな人の力を合わせて完成させていくモノづくりの楽しさ。また建築という仕事を通じて社会とつながり、自分の居場所を確認でき、そして少しは社会に貢献できていると自分を肯定することができる生きがい。それが私にとっての「建築」です。

新入会員のご紹介

大川 碧・志垣 智子



大川 碧

今年度より入会いたしました大川碧です。奈良県建築士会には、以前から青年委員会のSNSページを通して興味をもっており、昨年、建築士に合格したことをきっかけに、せっかくなので…ということで、入会を決めました。

私は現在、奈良県内の大学院にて木質構造の勉強、研究をしています。大学院に入ったのは、平成26年の秋です。2級建築士試験の勉強のなかで、構造に関してもう少し深く学びたいと思ったのがきっかけです。大学院に通っているとは言え、建築を始めたのが2、3年前なのでまだまだ分からないことばかりと言ったところで、構造の難しさを日々感じております。

そもそも、他業種から建築を目指そうと思ったきっかけは、数年前に岡山県にある100年ほど前に建てられた木造校舎を見たことです。当時はまだ、現役で学校として使われていた校舎なのですが、見た瞬間鳥肌がたったのを覚えています。学校建築は、各時代の子供たちが時代を隔ててもそこに居るという、不思議な空間だと思います。そして、その建物を建てた技術者の思いも、子供たちの心を通して受け継がれていくのだらうと思います。そんな、長く使われる建築に携わっていきたいと考えております。

奈良県建築士会の活動を通して、たくさんの人と出会い、関わっていききたいです。そして、刺激や影響を受けながら、成長をしていければと思います。これからも、よろしくお願いいたします。



志垣 智子

新大阪にあります「社会福祉法人敬友会高齢者住宅研究所」の研究員、大阪市立大学の特別研究員をしております。このたび、ご縁があって今年度から奈良県建築士会にも入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

生まれも育ちも奈良で、旅行好きな私にとって生活するには奈良が一番と実感する日々です。

職務では、今、話題になっているサービス付き高齢者向け住宅の評価や高齢者が住み慣れた地域で在宅継続が可能となる環境について調査・研究を行っています。建築士の資格を取得したおかげで全国の高齢者の住まいを見学する際に“見るべきポイント”が分かり、また専門分野の方と議論する際にも役立っています。

また、学部時代から地震災害時の人間への被害について研究をしています。東北へ足を運び、4年経っても住まいのない方たちにどのような居住支援を行うべきかを、研究を通して貢献したいと思っています。

さて、趣味は大学生の時から変わらず旅行で、国内外と様々なところへ行っています。研究発表でも海外に行く機会が多々あり、そのついでに地方へ足を伸ばしてみたり、地元住民と交流したり、建築物めぐりをしたりして楽しんでいます。去年はトルコ・イスタンブールでヨーロッパ地震工学会議がありましたので、ついでにギリシア・アテネまで行き、ギリシア古代建築に触れ、建築を学べて幸せだと実感しました。

縁深い奈良で、建築士会の活動に参加していく中で、様々な出会いを通して多くのことを吸収し、成長していきたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



お知らせ

去る6月4日、女性委員会委員 大原 道江 様が逝去されました。
いつも笑顔で土会の事業に参加され、女性委員会でも積極的に活動されていました。
謹んでお悔やみ申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。



「大原さんを偲んで」 山下 宣子

私が初めて大原さんと出会ったのは、今から11.5年前?H15年の忘年会だったと思います。桜井支部で木造建築の基礎のセミナーがあると聞いたので、事務局から、一

緒に行く桜井支部の大原さんを紹介してもらったのです。そのセミナーに大原さんは、はるばる大阪から行く私を毎回桜井駅まで送り迎えをさせていただいて、そんな事からすぐにお友達になりました。

私が悩んでいる時にはいつも、じっくりと話を聞いて下さる事に感謝しました。また私はいつも自分の動作が遅いと感じていたのですが、大原さんは私の2倍も3倍もゆっくりだとわかり、自分が逆に早いという感覚になるくらいで、とても気が楽になり、ほんわかと癒されていた気がしました。大原さんから教えてもらったことは多く、人としての心の在り方や人への接し方など深い話もあって、これからもっともっとたくさんの事を教えてもらいたかったのに…と、寂しさを抑えきれません。

生前、大原さんは素晴らしい仕事をされていて、公園の遊具の設計やモニュメントのデザインなども手がけられていました。これからも一緒に外構CADを導入して習得し、助け合っていこうねと話していたのが、昨日のこのようです。

6月4日に大原さんが帰らぬ人になってしまったと聞いた時は本当に信じられませんでした。病



気になってからも温泉にも行ったし、病院へお見舞に行った時には2時間くらいも話したりしていたのですから……。すぐに元気になって退院するとばかり思っていたので今でもウソみたいに感じています。大原さん、これまでの事、本当にありがとうございました。受け止めていくのはつらいのですが、また、いつの日か向こうの世界で会えると信じています。……………心からのご冥福をお祈りしています。



「大原さんを偲んで」 梶谷 治美

いつも、携帯に「梶谷さん…大原です…」と言って掛かって来ました。体付きと一緒にゆったりとした物言いで。でも、自分の

考えを持っていて、出来る事、出来ない事がハッキリとしていました。私が大原さんと親しくできたのは、ゆったりとハッキリがあったからだと思います。昨年2月の「珠光茶会」の時に観光センターで「少しだけ痩せた。いつもと同じように食べているのに」と言いながら「まだまだ、痩せるゆとりはあるけど」と冗談を言っていた時の写真です。

昨年7月の「石川県の建築拝見の旅」では、「歩くのが遅くてごめんね」と言いながら、一番後ろを歩いていました。

その後、妹さんの入院、看取り、その間に自身の緊急手術で、すっかりスリムになっていました。ガンが見つかり、再手術をして、2週間で退院。凄い決断力と回復力にはびっくりでした。新年会でも食事を気にしていましたが、出席する事ができて「楽しかった、励ましの言葉を貰って嬉しい」と喜んでいました。その後、2月以降5月の連休頃までに体力が徐々に落ちて辛そうでしたが、それでもショッピングの約束していました。まだまだ、時間が欲しかったと思います。

心から、大原さんのご冥福をお祈り致します。

皆様には、健康に気をつけていただいて、ご活躍を祈念しております。



今後の事業予定

- 8月 9日 (日)
青年委員会 夏休みこども木工教室 2015
- 8月13日 (木) ～ 8月15日 (土)
事務局お盆休業日
- 8月20日 (木)
理事会 (奈良県建築士会館)
- 8月25日 (火)
二級建築士試験 (学科) 合格発表 (予定)
- 8月26日 (水)
住宅相談会 (奈良県建築士会館)
- 8月29日 (土)
奈良県防災総合訓練

- 9月 8日 (火)
木造建築士試験 (学科) 合格発表 (予定)
- 9月13日 (日)
二級建築士試験 (設計製図)
- 9月30日 (水)
住宅相談会 (奈良県建築士会館)

- 10月 3日 (土)
近畿建築祭 (和歌山)
- 10月11日 (日)
一級・木造建築士試験 (設計製図)
- 10月28日 (水)
住宅相談会 (奈良県建築士会館)
- 10月30日 (金)
建築士会全国大会 (石川大会)

- 11月25日 (水)
住宅相談会 (奈良県建築士会館)

- 12月16日 (水)
住宅相談会 (奈良県建築士会館)

～和室研究部会より本のご紹介～

和室はどこへ！？

日本の暮らし方の変遷おすすめ本

「窓を開けなくなった日本人」 渡辺光雄著

“日本人が何気なく変えてきてしまった住まいと生活の仕方を振り返り、自然を享受する新しい住まいと住生活の在り方を提案する。”

サザエさんとブロンディの住まいと生活の比較から話は始まります。



編集後記

今号より、渡邊さんより引き継ぎ女性委員会広報部会員フープ担当に仲間入りをさせて頂きました寺岡です。

建築士会の活動は、生駒支部での活動を中心に参加させて頂いておりましたが、この度、フープの編集という大役を承り文章作成苦手な私、気を引き締める思いであります。

不慣れな点多々あるかと思いますが、2年間よろしくお願い致します。

いよいよ夏本番！熱さ燃え上がりそうな今年の夏！
くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。

(寺岡春恵)

